

横浜栄高等学校 第18回入学式 式辞

ただいま入学を許可しました新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今日、皆さんを横浜栄高等学校の生徒として迎えられることを、大変うれしく思います。

そして新入生保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。これからの三年間、大切なお子様方一人ひとりの成長のために、本校職員一同、精一杯尽力させていただき所存です。そのためには、ご家庭と学校とが協力し合ってお子様の成長を支えることが必要です。何卒ご理解ご協力いただけますよう、心よりお願いいたします。

また、本日はご来賓として、学校運営協議会委員・本郷中央地区社会福祉協議会会長・竹谷康夫様、横浜栄高校PTA役員たけややすおの皆様のご臨席を賜りました。新入生の入学をともにお祝いくださり、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、御礼申し上げます。

さて、本校のスクール・ポリシーには、「自ら未来を切り拓く」人材の育成を目指す、とあります。義務教育を終え、本校に入学した新入生の皆さんが「自ら未来を切り拓く」力をつけるために、在学中に取り組んでほしいと思うことを二つ、お話しします。「自ら意思決定すること」と

「自他ともに尊重すること」です。

私は皆さん一人ひとりが、自分らしく幸せな未来を生きてほしい、と願っています。それは、この会場にいる方々、特に、皆さんのご家族は強く願っていらっしゃるのだと思います。

自分らしく生きるとは、誰かに決められた人生を送るのではなく、自分の意思で決めた生き方をする。つまり、自分で考えて、決めて行動することです。その力をつけるには、授業でも学校行事や部活動でも、全ての場面で学ぶことです。自分の考えを持ち、自分で決められるように、いろいろなことに関心を持ち、大いに学んでください。

また、自分で意思決定するには、自分がどうしたいか、が出发点ですが、自分さえ良ければ、自分だけが幸せ、というのは本当の幸せではないと、私は思います。何かを誰かに押し付けられて、自分の思いが存在しない状態は、幸せとは言えない。それは、自分も他者も同じです。自分の意思を尊重してほしいと思うように、他の人も他の人自身の意思を尊重してほしいと思っています。他者を尊重する、それは迎合や同調圧力とは全く違います。人は人、自分は自分。それでも、未来をともに生きるために、他者に関心を持ち、互いの意思を尊重し、一緒にやれる方法を見つける努力をしてください。意思を持つ人と人が解決を目指し、願って話し合うこと、「対話」に挑戦してください。

うまくいかないこと、悩むことは当然あります。自分で何をどうしたらいいか決められない、そのようなときは、どうぞ先生方や先輩たちに話してみてください。決めるのは自分ですが、一緒に考えてくれるはずで
す。遠慮せずに、声をかけてください。

これからの学校生活で、皆さん一人ひとりが考え、決め、行動する、「自ら意思決定する」経験を積み重ねることを、「自他ともに尊重する」ためにいろいろな対話をして、未来を切り拓く挑戦をたくさんすることを願っています。

以上で、私のお話を終わります。

令和8年4月7日

神奈川県立横浜栄高等学校

校長 坂元 久美子